災害時対応マニュアル

災害が発生したら
あわてず、冷静に
行動しましょう

聖徳大学
聖徳大学短期大学部

「いざ」という時のために
常時携帯してください
2014年4月発行

学内で地震が起きたら

◎まずは安全の確保

屋外へ飛び出さず、揺れが落ち着くまでまず身の安全を確保しましょう。

■あわてず、教職員・非常放送の指示に従う。

■机やテーブルの下にもぐり、落下物から身を守る。

■実験・実習中の場合は、火気・化学製品・ガス・油などに対し安全策を講じる。

■エレベーターは使用禁止。

■屋外の場合はガラス等の落下物があるので校舎から離れる。

揺れが収まったら

◎冷静に状況判断

安全を確認しながら避難場所に集合してください。引き続き余震への警戒や二次災害の防止など、災害を最小限にくい止めるために、教職員の指示に従って冷静な対応をしましょう。

◎人が倒れていたら

負傷者がいたら助け合って応急処置等を行いましょう。
また、障害者のサポートも忘れずに。

火災が起きたら

早く知らせる

火災報知器のボタンを押す。また大声を出して周囲に火災を知らせる。

早く消火する

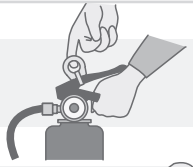
可能であれば周囲の人と協力して、危険のない範囲で水または消火器等で初期消火に努める。

早く逃げる

消火が困難な場合は無理をせずに火から離れること。有毒ガス・煙が発生する場合があるので、ハンカチ等で口・鼻を覆い、姿勢を低くして避難する。

消火器の利用方法

①安全ピンを引き抜く



②ホースを外して火元に向ける

③レバーを強く握って放射する

すぐに火が消えなければ、躊躇することなく避難する。

安否確認シート

◎氏名（全員記入）

カタカナ

◎所属

学生・教員　　学科・研究科

SOA会員

助手・副手　　研究室

事務職員　　課・室・センター

◎学籍番号（学生記入）

◎教職員番号（教職員記入）

0	0	0	0				

◎SOA会員番号（SOA会員記入）

◎生年月日（学籍番号等を忘れた者は記入すること）

生年月日	19	年	月	日

落ち着いたら

安否報告・安否確認

災害発生直後は電話やメールが通じにくくなります。災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板等を活用して、自身の安否を登録し、家族や友人の安否を確認しましょう。

大学からの帰宅について

帰宅する場合は、大学からの指示に従ってください。

災害用伝言ダイヤル

NTT東日本が大災害発生時に提供するサービスです。毎月1日と15日に体験利用ができます。

操作方法

伝言の録音	伝言の確認
☎171ガイダンスが流れます	
1	2
相手の電話番号	相手の電話番号
メッセージの録音	メッセージの再生

携帯各社の災害用伝言板

利用には事前の登録が必要です。
詳しくは各社のホームページなどで確認してください。

NTT docomo　au KDDI

SoftBank モバイル　WILL COM

イー・モバイル　NTT web171

■Google Person Finder

Google社が提供する安否確認のWebサイトです。
http://www.google.org/personfinder/japan

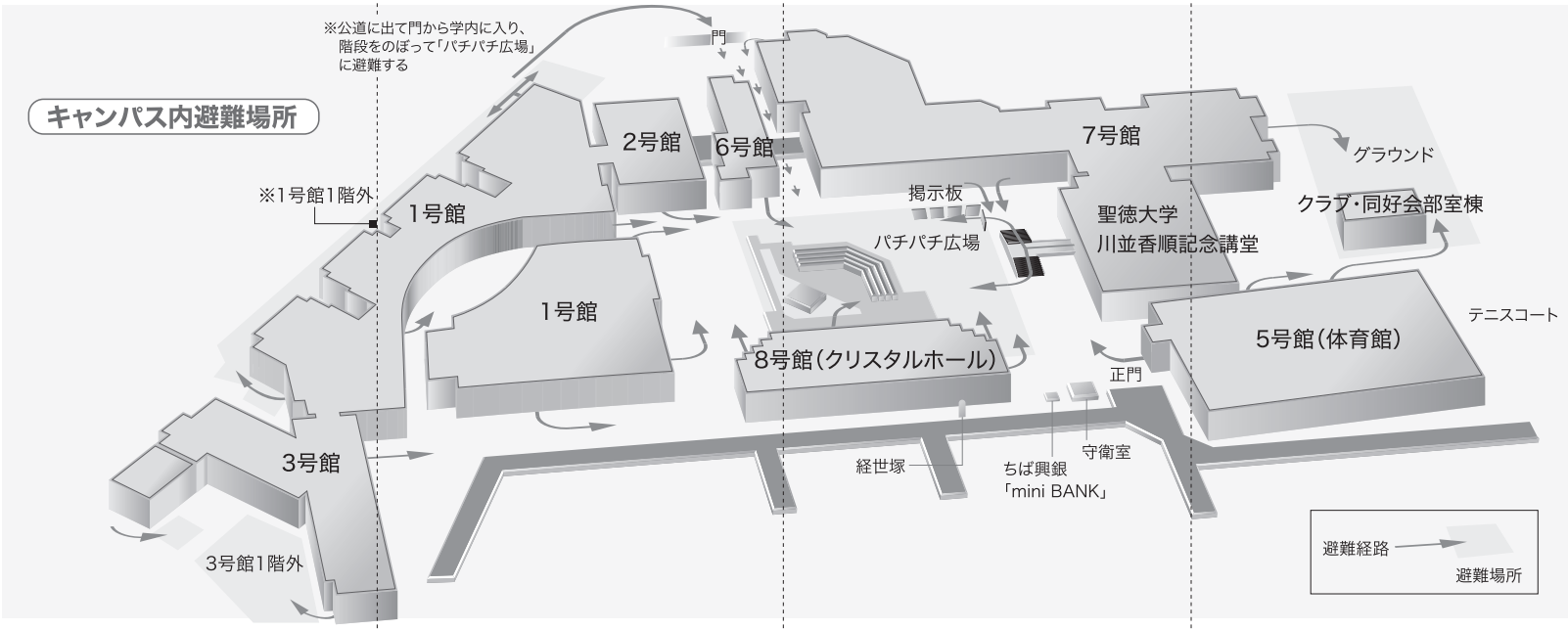
松戸市 緊急・防災情報

松戸市では、災害情報や犯罪情報などの緊急性の高い重要情報をメールで配信しています。利用するには登録が必要です。登録の手順は、下のQRコードから登録画面に遷移して確認してください。

▲＝折り線

キリトリ

キャンパス内避難場所



大学の外にいるときの対応

【街中や路上】

落下物に注意して公園や広場に避難しましょう。自販機やブロック塀など倒れやすいものからは離れましょう。

【乗り物内】

あわてて飛び出さずに、車内放送や構内放送、係員の誘導に従って行動しましょう。

【エレベーターの中】

階数表示のボタンを全部押して開いた階で降ります。ドアが開かないときは非常ボタンを押して外部と連絡をとってください。

【地下街】

非常灯を確認してあわてず行動しましょう。火災が起きている場合は、構内放送をよく聞いて避難しましょう。

キャンパスからの距離の目安

帰宅判断の目安

災害時には多くの人が一斉に帰宅するため、各所で混雑が発生します。災害時の歩行速度は1時間に約2.5km程度です。10kmは4時間を要することになります。
また、日没後の行動は危険です。一人での行動は避けるようにしましょう。
自宅まで10km以内であれば、帰宅することは可能ですが、自分の体力と相談しましょう。10km以上の場合は、無理をせず、避難場所に残ることを考えましょう。

緊急時の帰宅ルート

国道　　号線 または 通り・街道	国道　　号線 または 通り・街道
線 駅	線 駅

家族との集合場所

名称①

☎　(　　)

名称②

☎　(　　)

「もしもの時」に備えて

血液型:　　RH　＋　－

持　病:

服用薬:

アレルギー:

かかりつけ医

病 院 名

医 師 名

住　　所

電話番号

日頃の備え

いつ起こるかわからない災害に備えて、いざという時の避難場所や連絡方法について確認しておくことが大切です。

緊急時のための備蓄品

災害が起きてから必要な物を揃えるのは難しいものです。緊急時に備えて、日頃から必要な物を用意しておきましょう。

■いざという時に役立つもの

- □ 懐中電灯
- □ 携帯ラジオ
- □ 飲料水と食料(3日分程度)
- □ 簡易ガスコンロ
- □ 固形燃料
- □ ポリ容器
- □ 防寒具(冬場)
- □ ウエットティッシュ
- □ マッチ・ライター
- □ ろうそくなど

▶＝折り線